

シグマ研究委員会炉定数専門部会  
F P.W.G.会合議事録

日 時： 昭和47年6月27日(火) 13.30~17.30  
場 所： CRC3階301号室  
出席者： 大竹(富士), 飯島(NAIG), 松延(住友), 桂木, 菊池,  
田坂, 西村秀(原研)

議 事

1. 47年度の作業計画の検討

- 昨年度の作業として1人3核種の評価を分担したが、この作業は大分遅れており、一時中止する。
- CCDNより Cook の evaluated nuclear data が入ったので、これをもとにして群定数を作成する。
- 核データ専門部会からの evaluated data は入手可能になった時期に処理するが、今回は考慮しない。
- 次回会合までの具体的作業
  - 1) Cook の UKNDL format を ENDF/A format に変換
  - 2) Cook, Panzi, ENDF/B-III の data の比較プロット

2. FP炉定数作成上の炉物理的問題点の検討

- 重要核種  
群定数作成は180核種全部をやるべきという意見もあり、次回までに考えておく。
- lumping の方法  
lumping の際に生じる諸問題の炉物理的検討 (Time-dependence, capture による chain の変化, yield の energy-dependence) は、各研究者の研究する分野であり、Σ委の仕事ではない。Σ委としては、各核種の群定数と conventional な方法による lumped cross section を作成する。

具体的な lumping の方法は、各核種の群定数が作成された時点で検

討する。